



日本画家

後藤純男画伯(松伏町名誉町民・松伏町出身)

後藤画伯は、幼少期から青年期を松伏町で過ごし、その間に日本美術院展覧会(院展)で初入選されるなど意欲的に創作活動を続けていました。

その後、1963年には、町内にアトリエを構え、数多くの大作を創作されました。

松伏町中央公民館に、画伯の作品を展示していただいていますので、ぜひご覧ください。

後藤画伯から町民の皆さんへメッセージ

『国民の皆様と共に心から祈りをもって、新年を迎えたいと存じます。』

今、思い出すのは不便ながらも、小さな幸せが多かった松伏・宝蔵院での暮らしです。

何が大切なのか、心のあり方が問われる時代になりました。』

1992年
大和・雪のしじま



(後藤純男美術館より写真提供)



バレーボール全日本男子

石島雄介選手(町民栄誉賞受賞・松伏第二中学校出身)

石島選手は、日本代表として今年開催するロンドンオリンピックの出場権の獲得に向けて日夜練習に励んでいます。

また、昨季のVプレミアリーグでは、所属する堺ブレイザーズの優勝に貢献し、ベスト6賞を獲得しました。

石島選手から町民の皆さんへメッセージ

『昨年は東日本大震災があり、沢山の方々が大変な思いをされたと思います。日本全体がこの震災を機に、人との絆や調和、協力という日本人が大切にしてきたことを再認識したのではないのでしょうか。一人一人が当事者意識をもち、国や人間性を高めていく時期になっていると感じています。』

私はバレーボール選手として、ロンドンオリンピック出場を目指し、夢や感動を与えられる選手になれるよう努力していきます！

松伏町が、町民の皆さんにとって未来に希望のもてる町になることを祈っています。』

(国際バレーボール連盟、(公財)日本バレーボール協会、堺ブレイザーズより写真・記事提供 JVA承認2011-12-006)

男子プロゴルフ

石川遼選手(まつぶし夢大使・松伏町在住・松伏第二中学校出身)

石川選手は、国内の大会はもとより、海外の数多くの大会にも積極的に参加し、昨季も国内賞金ランキング3位の実績を残しています。世界最高峰の大会「マスターズ」優勝を目標に掲げ、日々チャレンジし続けています。

また、昨年は獲得賞金などを被災地に寄付するなど、被災地支援活動にも、積極的に取り組みました。

石川選手から町民の皆さんへメッセージ

『昨年の東日本大震災で多くの方が被災されました。私のプレーで被災者の方に少しでも元気を与えられればと思いプレーしました。』

今年も数多くの大会で優勝争いができるようがんばりますので、引き続き応援よろしくお願ひします。』



(財)日本ゴルフツアー機構より写真提供